



みのる法律事務所便り
令和5年12月第404号

みのる法律事務所
弁護士 千田 實
〒021-0853
岩手県一関市字相去57番地5
TEL:0191-23-8960
FAX:0191-23-8950



い な べ ん だ べ ん く
田舎弁護士の駄弁句 (153)

自立する 老人生活 支援する



ネットワークは エールの交換

令和5(2023)年12月1日
あおぞらうきよのすて
青空浮世乃捨

『自立する老人生活を支援するネットワーク』(以下『ネットワーク』と省略します)を立ち上げたのは、令和4(2022)年11月でした。1年が経過しました。

この1年間でネットワークは何をしてきたかを振り返ってみますと、特別これをやったという思いはありません。

ただ、この1年間で、ネットワークは11冊の駄弁本を発行しました。いずれも駄弁本ですから、無駄なおしゃべりという内容です。

ですが、自立する老人生活を支援したいという気持ちは込められています。自立して生活する老人を応援しようとする気持ちは込められています。

ネットワークは、自立して老人生活を送っている者同士がエールの交換をする場なのです。ネットワークはそのような場を提供したいのです。

ネットワークは、自立して生活している老人が互いに^{しゅさい}応援し合う交流の場を提供する主宰、つまり世話役となりたいのです。エールの交換のつなぎ役となりたいのです。

パートナー 見付けましょうと 声掛けて



八十路に気付き にがわら 苦笑いする

令和5(2023)年12月1日
あおぞらうきよのすて
青空浮世乃捨

ネットワークは、自立して生活する老人が互いに支援し合うための情報交換の場を提供する役目を果たしたいという思いに至っています。

その情報の第1回目として、『パートナーを見付けましょう』という駄弁本を発行しました。

その内容は「自立して生活している老人の独身男性と独身女性は、互いに愛し合って、支援し合しましょう」というものです。男女の愛を語った内容となっています。

書いている時はワクワクして、楽しく、夢中になっていて、時間の経つのを忘れていています。ふと「俺はもう81歳だ。何を書いているのだ。どこか狂っているのではないか」という思いが湧いてきます。思わず苦笑いをしています。

ですが、いくつになっても異性を思う心はワクワクします。すでに亡くなってしまいましたが、尊敬する大先輩の何人かの人が「いくつになっても異性のことを思うとワクワクする」と腹を割って本心を語ってくれました。

嬉しそうにそう語ってくれた先輩は、本当にいい人達でした。またお会いして異性に対するワクワクした話を拝聴したいものです。生きている限りはワクワクして毎日を送りましょう。



感謝と御礼

令和5年も12月となりました。今年も本当にお世話になりました。ありがとうございます。心底より御礼を申し上げます。

この事務所便りも、令和5年の最終号となりました。404号です。第1号を平成2(1990)年5月に出し、この404号まで33年8か月間、一度も休むことなく月1回発行できました。

この間、10回を超える手術や、人工透析治療などを受けましたが、この事務所便りをお読み下さっている皆様と、私を支えてくれている事務局や家族と、腎臓を提供してくれた妻や治療をしてくれた医師や看護師、栄養士の先生方や、保険という制度を通して、多額の医療費を負担して下さいた国民の皆様のお陰で、健常者に戻れ、70歳からは病気がらしい病気にかかることもなく過ごすことができます。

土日、祝日もなく、弁護士業に従事できています。また駄弁本の発行も月1冊のペースででき、「内容は無いよう」というものではありませんが、既に165冊発行することができました。還暦に誓った「生涯100冊の本を書く」という目標は、大幅に超えることができました。

これは偏^{ひとよ}に多くの皆様のお陰という他に言葉はありません。特に、この事務所便りをお読み下さっている皆様は、私にとっては、最良の仲間であり、心の支えです。何とかしてご恩をお返ししなければと言う思いでいつもいるのですが、思うようなことはできていません。

私も満81歳となり、来年は82歳です。仲間の多くも老人となってきています。

そこで、やれるうちに恩返しの真似事をしたいと思い、『自立する老人生活を支援するネットワーク』を満80歳で立ち上げましたが、このネットワークをより発展させ、お世話になっている仲間や、世の中に対し、少しでも恩返しをしたいという思いです。

ネットワークは、自立する老人生活に役立つ情報を、提供することが身の丈に合う役割であるのではないかとの思いで、「いなべんの哲学」シリーズ第13巻『自立する老人生活を支援するネットワーク』と、第14巻『パートナーを見付けましょう』という駄弁本を発刊しました。この事務所便りに同封しますので、お目を通して戴ければ幸甚です。

令和5年の年末となり、いつもお世話を戴いている皆様に対し、感謝の気持ちと御礼を申し上げたく、前記2冊の駄弁本を同封します。年末年始で、お酒やご馳走に飽き、テレビも面白くないというお時間がおありの時に、斜め読みでもして戴ければ幸甚です。

今年も本当にお世話になりました。心から御礼を申し上げます。来年もまた宜しくご指導・ご厚誼下さいますようお願い申し上げます。

本来なら年賀状を差し上げ、御挨拶をしなければならぬのですが、この事務所便りを以て、少し早めではありますが、年末年始の御挨拶とさせて戴きます。合掌。

